

令和6年度高萩市総合教育会議議事録

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 教育長挨拶
- 4 議題

1. 「市内小中学校2学期制の導入について」

(1) 目的

- 学期の期間を長くすることで、児童生徒の学習状況をより詳細に把握し、個に応じた学習指導の充実を図る。
- これまで慌ただしかった時期にゆとりをもった授業が展開できる利点を生かし、学習内容の定着や補足的・発展的な学習の充実を図る。
- 単元や題材など、内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法をより一層工夫することを通して、学習評価の妥当性や信頼性を高める。
- 学校行事等の平準化を通して、児童生徒が各種教育活動にじっくりと取り組める環境を整える。
- 教職員と児童生徒が向き合う時間を確保することを通して、生徒支援を充実させるとともに、児童生徒の豊かな心を育む

(2) 導入期間：令和7年4月1日から

(3) 学期の期間

前期：4月1日から10月第2月曜日（スポーツの日）まで

後期：10月第2月曜日の翌日から3月31日まで

(4) 主な変更点

始業式・終業式等：これまでの年6回から年4回となる

通信表：これまでの年3回から年2回となる

学校行事等：年間を通してバランス良く教育活動を位置付けることで、児童生徒の学校生活にゆとりと活力を生み出す

(5) 近隣市町村の現状

○北茨城市：令和6年度より導入

○常陸太田市：令和4年度より導入

○日立市：3学期制を継続。

(6) 茨城県内の状況（令和6年4月現在）

2学期制を導入：28自治体（64%）

3学期制を継続：16自治体（36%）

2. 質疑応答

○市内小中学校2学期制の導入について

Q：ここでの自治体は県内44市町村ですか？

A：はい。

3. 「高萩市立義務教育学校施設整備基本構想・基本計画第2回中間報告について」

高萩市教育委員会では、「高萩市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」を令和5年3月に策定し、“本市にふさわしい学校規模等”を定めるとともに“小中一貫教育の導入”の検討をした。

この基本計画を受け、翌年の令和6年3月に「高萩市立小中学校適正規模・適正配置実施計画」を策定し、具体的な再編計画を掲げ、“施設一体型小中一貫校校舎建設の検討”を行うこととした。

令和6年度から検討に着手した「高萩市立義務教育学校施設整備基本構想・基本計画」は、実施計画を基に高萩中学校区における高萩小学校、東小学校及び高萩中学校が抱える課題である児童生徒の減少、施設の老朽化及び津波浸水想定区域の立地を解消するため、新たに3校を統合した義務教育学校を整備し、児童生徒の学びの場として、安全・安心で良好な教育環境を確保し、魅力的な義務教育学校の実現を目的として策定する。

策定にあたっては、学識経験者、学校関係者、保護者、学校運営協議会の代表及び市議会の代表で組織する“高萩市立義務教育学校施設整備基本構想・基本計画策定委員会”に計画策定を諮問しています。これまで5回の策定委員会や先進地視察を行い、義務教育学校整備に係る基本方針、施設建設箇所、敷地利用計画、必要諸室等の検討を行った。

この第2回中間報告は、令和6年12月に中間報告としてまとめたものに、その後の検討内容を追加したもの。

4. 質疑応答

○高萩市立義務教育学校施設整備基本構想・基本計画について

Q：高萩小は高台にあり、災害に強いがどこからも坂で、どこからも狭いので道路状況が良くない。車社会のため、いつもお迎えの車で混雑している。校舎裏の広場を活かせればと思う。駐車場の問題が解決できれば高萩小は最適と考えるが、そのための道路はどのようなになるのか？

A：北茨城市からの都市計画道路の3・5・9号線が、令和8年度には完成し、神宮司の八幡宮につながる道路の交差点に信号が付く予定。その道路を通学路として使うために道路を拡幅したいと考えている、また、東側からは、斜面が影響し、住宅もあるため適していない。西側からが適していると考えている。

Q：国道461号線からは？

A：やはり傾斜があるため、平地の方が最適である。

今の道路を残しつつ、必要最低限な道路の整備を考えている。

Q：こうして候補地を見てみると、高萩小学校用地が、財政的にも現実的に一番いいのかなと思いますが、なるべく支出を抑えるような計画で、ぜひ、子どもたちに負担を残さないようにしたいなと思います

A：子どもたちに重い負担を残さないというのは、我々の責務だと考えています。

5. 要望

・市民はこの計画があることは知っているが、憶測で話が広がっている。市民の認識が独り歩きしないよう、随時細かな説明をお願いしたい。

6. 今後のスケジュール

2月19日の議会全員協議会に議案提出の後、3月19日の第6回策定委員会で答申を受け、その後パブリックコメントを経て4月中に計画策定終了。答申後、教育委員会に諮り決定。建設については市長部局と協議しながら進める。

教育財産取得の決定については教育委員会で決定後、教育委員会からの申出により市長が教育財産の取得や予算計上等の対応。

出席した者の職氏名

大部市長

大内教育長

小林教育長職務代理者

増子教育委員

佐川教育委員

鷺教育委員

大月企画総務部長

大森教育部長

蛭野産業建設部長

渡邊企画財政課長

小森教育総務課長

和田学校教育課長

伊藤生涯学習課長

石川都市建設課長

豊田教育総務課課長補佐

石川学校教育課課長補佐

小野瀬教育総務課係長

阿部企画財政課係長

栗原企画財政課主幹